

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
1	[ダイアログ - 選択]アクションをタスクビルダーから実行すると、同じタスク内の[ダイアログ]アクションが失敗する	Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226	[ダイアログ - 選択]アクションが含まれるタスクをタスクビルダーから実行すると、当該ステップまたは別の[ダイアログ]アクション使用箇所でのこのオブジェクトは別のスレッドに所有されているため、呼び出しスレッドはこのオブジェクトにアクセスできません。というエラーが発生する	本エラーメッセージはタスクアドミニストレーター/管理コンソールからの実行では発生しません。本アクションの挙動確認についてはタスクアドミニストレーター/管理コンソールから実施してください。 この不具合は将来的なリリースで修正される予定です。	
2	Windows11のエージェントにおいて、カスタムアクションが使用できない	Plus/Ultimate	23.1.0.226	Windows11環境にインストールされたエージェントでカスタムアクションのステップを含むタスクを実行すると、アクションが存在しない旨のエラーメッセージが発生しタスクがエラー停止します。	カスタムアクションを実行させるエージェントはWindows 11以外の環境を選択してください。	
3	バージョンアップ時にログのファイル名がバージョンアップ前のファイル名で表示される	Desktop	23.1.0.226	AutoMateをバージョンアップ後、AutoMateのログファイル名がバージョンアップ前のバージョンのファイル名にて出力されます。 例えば、AutoMate11からバージョンアップする場合、「AutoMate11~.txt」というファイル名で出力されます。	<C:\ProgramData\Automate\Automate Desktop 2023>配下にある「TaskService.config.xml」からログファイル名を変更します。 なお本件は仕様です。	
4	HTTPアクションにて日本語を含むパスを指定するとエラーになる	Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64	[HTTP - POST]アクションにて日本語を含むファイルパス名を指定するとサーバーエラーが発生しPOSTが失敗します。	修正パッチを適用することで回避可能です。 修正パッチはAutoMatePortalのダウンロードページからインストーラーと同バージョンのパッチをダウンロードしてください。 適用手順はインストール手順書またはバージョンアップ手順書をご参照ください。	
5	EdgeをIEモードで使用すると、Webブラウザアクションによって作成された一時フォルダが自動削除されず残留する	Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64	AutoMateタスク内でEdgeをIEモードで使用する場合、Webブラウザアクションが自動生成するフォルダ「IEDriver-xxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxx」と内包されているファイルがタスク終了後も「C:\Users\%[ユーザー名]\AppData\Local\Temp」配下に残留します。頻りにIEモードを使用したタスクが実行されている場合、一時フォルダの大量残留によるリソース占有が発生する恐れがあります。	残留するフォルダは一時フォルダであるため、タスク終了後は削除いただいて構いません。 この不具合は将来的なリリースで修正される予定です。	
6	IEモードはレコーダーでは使用できない	Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70	レコーダーではEdgeのIEモードを使用することができません。 本件は仕様となります。		
7	Windows11の物理環境において、端末再起動後にオプション>システム設定>実行配下「Windowsフォアグラウンドタイムアウトを無効にする」のチェックボックスが外れる	Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90	物理端末のWindows11環境にインストールされたAutoMate Desktopにおいて、端末を再起動させるとタスクアドミニストレーターのオプション>システム設定>実行配下「Windowsフォアグラウンドタイムアウトを無効にする」のチェックボックスが外れ、タスク実行時にタスクバーのアイコンが点滅したり、操作対象のウィンドウが適切にフォーカスされない事象が発生します。 なお、本事象は仮想環境上のWindows11にインストールされたAutoMate Desktopでは発生しません。	この不具合は将来的なリリースで修正される予定です。影響の大きいユーザー様は次のリリースを待つことをご検討ください。	
8	タスクアドミニストレーター[カレンダー]セクションにおいて、スケジュールトリガーで除外日指定されている連続した日程が正しく表示されない	Desktop	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70	[オプション]>システム設定>「休日」で登録された休日に2日以上連続した日が登録されており、1日おきのスケジュールトリガーの「除外日」にその休日を指定した場合、タスクアドミニストレーター[カレンダー]セクションにおいて連続した休日の2日目以降が「実行予定」として表示されます。 例) 1日、2日、3日が休日として登録されており、1日おきに実行されるスケジュールトリガーでこの休日を除外日として設定すると、2日と3日は実行予定として表示されます。	本事象は表示上の不具合です。タスクの実行スケジュールはタスクアドミニストレーター[オプション]>システム設定>「休日」に登録された日付、及び<C:\ProgramData\AutoMate\AutoMate [バージョン番号]>配下の「holidays.ahp」ファイルの表記に従い適切に除外されます。 この不具合は将来的なリリースで修正される予定です。	
9	レコーダーで作成したWebブラウザアクションのセッションがデフォルト「web session1」となる	Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70	レコーダーで作った[Webブラウザ]アクションのセッションが、デフォルトは「web session1」になり、普段タスクビルダーで作成する[Webブラウザ]アクションのデフォルトは「browser session1」になります。 (手動でセッション名を合わせることは可能) 本件は仕様となります。		
10	バージョンアップ後、バージョン表記に「期限切れ」と表示される	Pro Premium Enterprise	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94	11.5以降にバージョンアップ後、AutoMate 11 タスクアドミニストレーターまたはAutoMate Enterprise 11 管理コンソールの「ヘルプ」→「About」からバージョンを確認すると「期限切れ」と表示されます。	ライセンス体系の違いによる表示上の問題のため動作自体に影響はありません。	

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
11	ダブルバイト文字（日本語）が文字化けするアクション	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	以下のアクションにおいて、ダブルバイト文字（日本語）は文字化けします。 ・ターミナル	IBMi (AS/400, TN5250)については日本語対応のWeb版エミュレータを提供しています。	
12	[FTP]アクションはASCIIとBinaryの転送モードのみサポート	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[FTP]アクションではASCIIとBinary転送モードのみサポートされるため、IBMi (AS/400)からダブルバイト文字を含むテキストをダウンロードすると文字化けします。 ※TYPE B (SHIFT JIS KANJI)が使用できないためです。	Windowsのコマンドプロンプト、バッチやPowerShellを使用して代替します。	
13	[VMWareホスト]および[VMWareゲスト]アクションでvSphere6.5以降は操作不可	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[VMWareホスト]および[VMWareゲスト]アクションでvSphere6.5以降は操作できません。 AutoMateではVIX APIを使用していますが、VIX APIはvSphere6.5以降では廃止されているためです。		
14	[VMWareホスト]および[VMWareゲスト]アクションは無償ハイパーバイザーライセンスのESXi環境では使用できない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[VMWareホスト]および[VMWareゲスト]アクションは、無償ハイパーバイザーライセンスのESXi環境では使用できません。実行すると以下のエラーが発生します。 This operation is not supported with the current license		

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
15	[Active Directory]アクションのユーザー作成で「フルネーム」の項目に日本語が使用できない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Active Directory]アクションのユーザー作成で「フルネーム」の項目に日本語を使用するとエラーとなります。	Windowsコマンドのdsaddコマンドを使用します。	
16	[Amazon S3]アクションにおいて仮想MFAデバイスは非対応	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Amazon S3]アクションにおいて仮想MFAデバイスは対応していません。		
17	AutoMate Enterpriseにおいて、Enterprise Server, Agent, Developer Toolは全て同一バージョンでなくてはならない	Enterprise Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	AutoMate Enterpriseでは、コンポーネント間のバージョン差異は許容されません。混在していた場合、サーバーのサービスが応答不能になるなどの障害が発生する可能性があります。本件は仕様となります。	バージョンアップの際には、全て同一バージョンとなるよう実施します。	
18	[OpenDocumentスプレッドシート]アクションでは、「Microsoft Excel 5.0/95ブック」形式のxlsファイルを開けない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[OpenDocumentスプレッドシート]アクションを使用して「Microsoft Excel 5.0/95ブック」形式のxlsファイルを開こうとすると、「This Excel files contains BIFF7(Excel95 or earlier file format) records.」のエラーとなり開くことが出来ません。	[OpenDocumentスプレッドシート]アクションではなく、Excelアクションであれば使用できます。	

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
19	タスク関数内のループを「変数 - 戻る」アクションで抜けると、次回同じループの先頭を通った際にループが初期化されない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	タスク関数内のループを「変数 - 戻る」アクションで抜けると、次回同じループの先頭を通った際にループが初期化されず、ループのインデックスが保持されたままになります。	タスク関数内のループを「変数 - 戻る」アクションで抜けるのではなく、一度同じタスク関数内でループを「Loop - Break」で終了させます。	
20	ヘルプファイル(英語)においてAutoMateのタスク関数(function)について、誤った情報が記載されている	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	ヘルプファイル(英語)において、AutoMateのタスク関数(Function)について「Public/Private」の記述があり、他のタスクから別タスクの関数が呼び出せるかのように書かれていますが、そのような機能はサポートされておりません。(ヘルプファイルが誤っています)	タスクごとに使用する関数(Function)が定義されている必要があります。	
21	スケジュールトリガーの除外時間がカレンダーに正しく表示されない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	除外条件として複数のカテゴリのholidayが指定されている場合、カレンダー表示において二番目以降に指定されたカテゴリの除外条件がカレンダー上に正しく反映されず、スケジュールされているかのように表示されます。	表示に誤りがありますが、動作は除外条件の設定通り正しく除外されます。	
22	GPL Ghostscriptのバージョン互換について	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[OCR]アクションでPDFファイル进行处理する際、インストールされているGPL Ghostscriptのバージョンが9.27だと稼働しません。(9.23までは稼働確認がとれております) 読取り方法を[Legacy]に変更した場合、GPL Ghostscriptの9.27以降がサポートしていない旨の記述があります。本件は仕様となります。	GPL Ghostscriptバージョン9.23をご利用下さい。	

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
23	Internet Explorerに対してキー入力をするときにメニューバーが出たり消えたりする	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	まれに、Internet Explorerに対して[入力 - キーストロークの送信]アクションでキー入力する際にAltキーを連打したかのようにメニューバーが出たり消えたりして正しい値を入力できないことがあります。	[Basic スクリプト]アクションを代用します。以下の記事をご参照ください。 https://automate.sct.co.jp/knowledge/3620/	
24	[Webサービス関数の実行]アクションで実行する関数のオプション引数を省略できない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Webサービス関数の実行]アクションにおいてWSDLファイルを読み込むことにより引数内のタイプ項目が自動的にセットされます。各タイプの値については、任意項目の場合でも値を指定しないと正常に動作しません。	任意項目についても値を指定します。 または、SOAP APIの代わりに、JSONでREST APIを使用します。	
25	[Webサービス関数の実行]アクションで複合型の継承は使用できない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Webサービス関数の実行]アクションはネスト構造内にあるオブジェクトは読み込めますが、複合型の継承からなるオブジェクトはサポートされません。	SOAP APIの代わりに、JSONでREST APIを使用します。 または、SOAP APIのWSDLファイルを編集し、問題となる複合型の部分を、AutoMateが認識できるような構造に変更します。	
26	[Webサービス関数の実行]アクションはHTTPSをサポートしていない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Webサービス関数の実行]アクションはHTTPのみに対応しており、HTTPSでの利用は対応していません。		

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
27	ODSファイルの行間隔が変わる	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[OpenDocumentスプレッドシート]アクションを使用し、別のODSファイルから取得したデータをODSファイルに設定するとファイルの行間隔が変更されます。		
28	[Excel-ワークシートをアクティブにする]アクションでグラフシートを指定できない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Excel-ワークシートをアクティブにする]アクションでグラフシートを指定すると「ワークシートが存在しません」エラーが発生します。	Excelファイルを開いた後に[対話機能 - 押す]アクションでシートを選択します。	
29	[if -ピクセルが存在する]で色を取得すると補色の色コードが取得される	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[if -ピクセルが存在する]で色を取得するとその座標の色ではなく、補色の色コードが取得されます。 (RGB形式ではなくBGR形式で取得されています)	表示された色コードの補色の色コードを入力します。	
30	現在使用中のサーバー管理コンソールセッションの確認・および任意のコンソールセッションを強制的に切断する手段が無い	Enterprise Plus/Ultimate	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	サーバー管理コンソール(開発ツール)において、現在使用中のコンソールセッションの確認・および任意のコンソールセッションを強制的に切断する手段が無く、サービス「AutoMate Enterprise 11 Management Server」再起動による全コンソールセッション切断以外に手段が提供されていません。		

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
31	AutoMateの関数「GetErrorText(iErrorCode)」で正確なエラーコードを渡しても正確な戻り値を返されない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	AutoMateの関数「GetErrorText(iErrorCode)」で正確なエラーコードを渡しても正確な戻り値を返されず、期待通りに動作しません。		
32	監査イベントに「グローバルトリガーのオン/オフ」に関する情報が正しく出力されない	Enterprise Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	グローバルトリガーのオン・オフ操作をすると、監査イベントに誤った情報「Revision Management properties modified by user 'Administrator'」が記録され、グローバルトリガーに関する操作が記録されません。		
33	ファイルトリガーのPollingモードを使用する場合、Polling間隔の間に追加して削除するファイルは評価されない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	PollingモードはPolling間隔両端の時点だけを評価する仕様なので、評価する2つ時点にもファイルの存在しない場合、察知されないことになります。(例:5秒間隔で実行していた場合、その5秒間の間に同じファイルが作成→削除または移動されていると、次の確認時には検知されません)	Pollingモードを利用せず、通常モードを利用します。	
34	データベーストリガーでOracleデータベースを指定する際の前提条件	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	データベーストリガーにOracleデータベースを指定した場合は以下の要件を満たす必要があります。 A) ライセンス要件 : Oracle TimesTen Application-Tier Database Cacheオプション B) バージョン要件 : 11g Release 1 (11.1)以降 C) ユーザーのCHANGE NOTIFICATION権限 SQL文「grant change notification to <ユーザー名>」を実行します。 D) ユーザーのDBMS_CHANGE_NOTIFICATIONパッケージ実行権限 SQL文「GRANT EXECUTE ON DBMS_CHANGE_NOTIFICATION to <ユーザー名>」を実行します。 E) OLE DBが利用できる 推奨ODACパッケージ : 64-bit Oracle Provider for OLE DB F) データベース通知をリスニングするポートの設定 ポート番号はアプリケーションごとに一意に設定する必要があります。		

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
35	[Excel - ワークシートの追加]アクションでワークシート名がExcelのシート名制限を超えている時、実行時エラー「ワークシートはすでに存在します」が発生し、Excelファイルにはシートが名前指定なしで追加される	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Excel - ワークシートの追加]アクションでワークシート名がExcelの制限を超えている(31文字を超える、特定の記号を含む等)場合、実行時エラー「ワークシートはすでに存在します。」が発生します。その際Excelファイルにはシートが名前指定なしで追加されます(元一つのシートのみだった場合は「Sheet2」が追加されます)。	ワークシート名に関するExcelの制限を超えないようにします。 例えば、ワークシート名に指定する変数値を下記アクションで処理します。 ・[If - テキスト] ・[テキスト - 置換] ・[テキスト - サブストリングの取得]	
36	[Webブラウザ - 値の取得]アクションで、プルダウンリストに表示されている文字列を取得すると、value値が取得される	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4	[Webブラウザ - 値の取得]アクションにて「クリック」でプルダウンリストの文字列を取得すると、テキストで取得することができず、value値で取得されます。	一度、[Webブラウザ - 値の取得]アクションにてvalue値を取得し、次に[Webブラウザ - 値の取得]アクションにて、先に取得したvalue値を用いてvalue値で検索することで、テキストを取得することが可能です。	
37	[タスク - 実行]アクション指定時に、指定するタスクのパスに全角英数字が含まれるとエラーとなる	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4	[タスク - 実行]アクション指定時に、指定するタスクのパス(フォルダ名やタスク名)に全角英数字が含まれると、エラー「No managed task named "タスク名" exists」が発生します。	タスクアドミニストレーター上のフォルダ名やタスク名には半角英数字を指定します。 例えば、「フォルダ1 A」→「フォルダ1A」と修正します。	
38	タスクアドミニストレーター[ログ]タブにて正しい終了日付を指定できない	Pro Premium Desktop	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	アドミニストレーターを立上げっぱなしの状態にして、何日か経過後、[ログ]タブにて、日付を指定しようとする(日付指定の[終了])。すると、アドミニストレーターを立ち上げた日までしか選択できず、立ち上げた日より先の日付が指定できない。 (例:3月24日にアドミニストレーター立上げたままにして、3月27日にその日までのログを確認しようとするが日付指定の[終了]で3月27日と指定できない)	タスクアドミニストレーターを再度立ち上げ直すことで回避可能です。	
39	zipファイルを「圧縮 - 解凍」アクションで解凍するとファイル名が必ず文字化けする	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65	zipファイルを「圧縮 - 解凍」アクションで解凍するとファイル名が文字化けします。	powerShellのExpand-Archiveコマンドにて代用可能です。	

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
40	TaskBuilderで既存のタスクを印刷する時、始めのステップのアイコンと同様のアイコンが印刷される	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70	TaskBuilderで既存のタスクを印刷する時、各ステップが異なるアイコンだと表示されるところが、始めのステップのアイコンと同様のアイコンが印刷されます。		
41	子Webブラウザウィンドウ(以下「子ウィンドウ」)にWebブラウザセッションを割り当てると親Webウィンドウ(以下「親ウィンドウ」)にあるHTML要素は認識できなくなる	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70	親Webブラウザウィンドウ(以下「親ウィンドウ」)にてボタンやリンクを押し、子Webブラウザウィンドウ(以下「子ウィンドウ」)にWebブラウザセッションを割り当てる親ウィンドウにあるHTML要素は認識できなくなります。	子ウィンドウを既存の親ウィンドウにタブとして移動して操作します。	
42	子Webブラウザウィンドウ(以下「子ウィンドウ」)Webブラウザセッションを割り当てて後、子ウィンドウに対して「Webブラウザ - ブラウザを閉じる」アクションを指定すると親ウィンドウも閉じられる	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70	親Webブラウザウィンドウ(以下「親ウィンドウ」)でボタンやリンクを押し、子Webブラウザウィンドウ(以下「子ウィンドウ」)Webブラウザセッションを割り当てます。その後、開かれたウィンドウ(以下「子ウィンドウ」)を「Webブラウザ - ブラウザを閉じる」アクションにて閉じると、親ウィンドウも閉じられます。	子ウィンドウを既存の親ウィンドウにタブとして移動して操作します。	
43	レコーダー機能にExcelの操作は不可	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94	レコーダー機能にExcelの操作はございません。	タスクビルダーからExcelアクションを設定し、レコーダーのリージョンにドラッグアンドドロップして組み込みます。また、本件は仕様となります。	
44	Webブラウザアクションにてポップアップウィンドウが表示された状態でセッションを割り当てると、「ブラウザの起動中にエラーが発生しました」のメッセージが表示される	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94	Webブラウザウィンドウにはポップアップウィンドウが表示された場合、この状態で[Webブラウザセッションを割り当て]アクションでそのWebブラウザのウィンドウをフォーカスして設定すると、「ブラウザの起動中にエラーが発生しました」と表示され、対象となるWebブラウザウィンドウも閉じられます。		
45	既存のレコーダーリージョンのコードをコピーペーストすると、コピーしたレコーダーリージョンのコードは再度編集できなくなる	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94	TaskBuilderで既存のレコーダーリージョンのコードをコピーペーストする時に、recordingIDが欠落します。そのため、コピーしたレコーダーリージョンのコードは再度編集できなくなります。		
46	[ダイアログ - カスタム]アクションで作成するダイアログのウィンドウサイズが縮められない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65	[ダイアログ - カスタム]アクションで作成するダイアログのウィンドウサイズは横486、縦326より小さくすることはできません。	「ダイアログ - カスタム」アクションにて作成するダイアログのウィンドウサイズは横486、縦326以下に縮められません。本件は仕様となります。	
47	バックアップファイルから「バックアップと復元」で復元しても、「ログ管理」配下の各ログファイルの場所(パス)がバックアップを取った時点のパスに復元できない	Pro Premium Desktop	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4	タスクアドミニストレータで「バックアップと復元」で復元しても、「ログ管理」配下の各ログファイルの場所(パス)がバックアップを取った時点のパスに復元できません。		

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
48	「対話機能 - テキストの取得」アクションにてファイル名の値が取得されない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4	「対話機能 - テキストの取得」アクションを利用して、エクスプローラー上のファイル名を取得し、変数に格納します。その変数に格納する値がファイル名(例えば「Book1.xlsx」)ではなく「ファイル名:」と返されます。 旧バージョンだと「Book1.xlsx」が返されます。	「テキストの取得元」を「値のプロパティ」に設定します。	
49	[ターミナル]アクションにて特定のコマンドを実行すると、1回目の実行にてコマンドが実行されない。	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	23.1.0.226 22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	AutoMateで[ターミナル]アクションで以下のコマンドを実行すると、1回目は実行されないが2回目は実行されます。 vim-cmd vmsvc/getallvms grep %var_ServerName%	[ターミナル]アクションで当該コマンドを2回入力します。	
50	バージョンアップ後、新しいフォルダ (Automate 2022) 配下にログが出力されない	Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64	バージョン11から22にバージョンアップした場合、旧フォルダ (C:\ProgramData\AutoMate\AutoMate 11 または C:\ProgramData\AutoMate\AutoMate Agent 11) が残っている場合、テキストログの出力先が更新されません。	手動で設定ファイル「TaskService.config.xml」を変更する必要があります。詳細手順はバージョンアップ手順書の「バージョンアップ後の設定・確認事項 『i. インストール後は、必ず以下の設定を行います。』」を確認してください。	23.1.0.226
51	Ifアクションの「単純な条件式」におけるTrue/False (真偽) 記述方式による判定の挙動	Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64	バージョン22.1においては「"True"」「'True'」「"False"」「'False'」(ダブルクォーテーションまたはシングルクォーテーションが必要)の4点のみが真偽値として判断されるようになっています。	次のリリースにおいて修正される予定です。影響の大きいユーザー様は次のリリースを待つことをご検討ください。	23.1.0.226
52	「Basicスクリプト」アクションにおける日付型の戻り値のフォーマット変化	Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64	従来のバージョン (11.7まで) では「YYYY/MM/DD」で得られていた戻り値が、新バージョン 22.1においては「MM/DD/YYYY hh:mm:ss」となっています。	次のリリースにおいて修正される予定です。影響の大きいユーザー様は次のリリースを待つことをご検討ください。	23.1.0.226
53	永久ライセンス適用済のAutoMate Runtimeが「ライセンスされていません」と表示され、ライセンス画面以外に遷移できない	Runtime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90	AutoMate Runtimeの永久ライセンス適用済環境のタスクアドミニストレーターで「ライセンスされていません」と表示され、ライセンス画面以外を操作できなくなる。ライセンス画面の[状態]には「キーは有効」と表記されるが永久ライセンスを再適用しても解消されない。		23.1.0.226
54	OnTaskFailureで[タスク - 停止]アクションでカスタムエラー番号を指定しタスクをエラー停止すると、タスクが停止されない	Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90	OnTaskFailureイベント内で[タスク - 停止]アクションでカスタムエラー番号を指定の上でエラー停止すると、タスク実行が停止されず実行が継続されます。		23.1.0.226
55	WebブラウザアクションにてChromeバージョン116以降を起動しようとすると「ブラウザのバージョンが特定できません」と表示される	Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70	WebブラウザアクションにてChromeバージョン116以降を起動すると「ブラウザのバージョンが特定できませんでした」のメッセージが発生し正常にWebDriverがダウンロードできない事象が発生します。	WebDriverを手動でダウンロードし<C:\ProgramData\AutoMate\Webdriver>配下に配置、または「tmp_Chrome」が存在する場合、「tmp_Chrome」よりchromedriver.exeをコピーし、<C:\ProgramData\AutoMate\Webdriver>配下に配置します。	23.1.0.226
56	[Excel - マクロの実行]アクションでブック存在時の上書き保存プロパティが機能しない	Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65	[Excel - マクロの実行]アクションで、ブック存在時の上書きプロパティをONにしても、マクロを実行すると保存確認ダイアログが表示され、タスクが停止します。	[Excel - マクロの実行]アクションの実行後のファイルを一旦別フォルダへ保存し、[ファイルシステム - 移動]アクションにより本来保存したい場所へ上書きをすることで回避します。	23.1.0.226
57	Webブラウザアクションの対象ブラウザが「Chrome」または「Firefox」の場合に要素が正しく取得できない	Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65	Webブラウザアクションの対象ブラウザが「Chrome」または「Firefox」の場合にタスクビルダーから要素を取得しても、タグ以下の情報を取得することができません。	設定時は「Internet Explorer」で要素を取得するか、手動で情報を埋めます。	23.1.0.226

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
58	ダブルバイト文字（日本語）が文字化けするアクション	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	以下のアクションにおいて、ダブルバイト文字（日本語）は文字化けします。 ・PDF（作成）	IBMi (AS/400, TN5250)については日本語対応のWeb版エミュレータを提供していません。	23.1.0.226
59	BOM無しCSVファイル読み込み時の問題	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[ファイルシステム - CSVからデータセットへ]アクションで、ダブルバイト文字を含むcsvを読み込む場合、Byte order mark (BOM) の無いCSVファイルで文字化けします。	BOM付きUTF8またはShift-JISでCSVを保存します。	23.1.0.226
60	[ターミナル]アクションの実行結果 (History) の取得行数制限	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[ターミナル]アクションでは、コマンド実行結果 (History) およびログファイルは290行までしか取得できません。		23.1.0.226
61	[FTP]アクション - SFTP使用時にディスク空き容量が無い場合の問題	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[FTP]アクションでSFTPを使用しファイルをダウンロードする際、ダウンロード先のディスクに空き容量が無くてもエラーにならず、タイムアウトまで待ち続けます。		23.1.0.226

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
62	[OCR]アクションにおいて、同サイズ・同DPI・同座標であるにも関わらず、「Specified region」がファイルによってずれる場合がある	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	22.1.0.64 11.7.1.6 11.7.0.90 11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[OCR]アクションにおいて、同サイズ・同DPI・同座標の画像ファイルであるにも関わらず、「Specified region」がファイルによってずれる現象が確認されています。	[OCR]アクションの前に画像アクションで50%にリサイズしたのに対して[OCR]アクションを行うことで回避できることを確認しています。 または、「画像 - クロップ」アクションで対象部分のみ切り出し、切り出した画像に対してOCRを実行することで回避します。	23.1.0.226

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
63	Chromeのバージョンが107.0.5304.63以上の場合、[ブラウザを開く]以外のステップをレコーダー機能で定義することができない	Desktop Plus/Ultime	11.7.1.6 11.7.0.90	Google Chromeのバージョンが107.0.5304.63以上である場合、[ブラウザを開く]以外のアクションをレコーダー機能を使用して追加することができません。		22.1.0.64
64	[データベース - SQLクエリ]アクションでSQLの結果がない場合、データセットが作成されない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	11.7.0.90	[データベース - SQLクエリ]ステートメントの実行の結果として行が返されない場合、データセットが作成されません。	修正後は空のデータセットを作成するようになりました。	11.7.1.6
65	Emailトリガーを設定した後、65分で監視が停止する	Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	11.7.0.90	[Email]トリガーおよびコンディションを設定した後、65分後にEmailトリガーが停止し、監視をしなくなります。		11.7.1.6
66	ブラウザセッション名に変数を指定すると[Webブラウザ-リストアイテムの選択]および[Webブラウザ-メニューアイテムの選択]アクションでエラーとなる	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4	ブラウザセッション名に変数を指定すると[Web ブラウザ-リストアイテムの選択] および [Web ブラウザ-メニューアイテムの選択] アクションで「セッションxxxが見つかりません」エラーとなります。		11.7.0.90
67	レコーダーのリージョン名を変更しても、「recording - <timestamp for last recording edit>」に変更される	Desktop Plus/Ultime	11.6.0.70	レコーダーを編集する都度、レコーダーのリージョン名を手動変更しても、編集操作により該当レコーダーのリージョン名が「recording - <timestamp for last recording edit>」に変更されます。		11.7.0.90
68	サブタスク内でエラーが発生すると親タスクが致命的なエラーで停止する	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ultime	11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65	サブタスク内でタスク実行エラーになると、親タスクが致命的なエラーとなり、後続の処理に進むように設定していても継続できずに停止してしまいます。	サブタスクにおける「OnTaskFailure」で「タスク - 停止」アクションの「中断」オプションを使用することで回避します。	11.7.0.90
69	タスク終了時点でAgentとサーバー間のTCP接続が切れていると、ワークフローがエラーになる	Enterprise Plus/Ultime	11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19	Agentにおけるタスク終了時点においてAgentとサーバー間の接続が切れていると、再接続後タスクが正常終了していても「Agent disconnected before task finished」エラーとなりワークフローがエラーになります。	管理コンソール上オプション>デフォルトプロパティ>タスクエージェントプロパティのデフォルト設定「その他」にて、以下のチェックを外します。 ・タスク実行中のエージェント接続状態を継続的に監視	11.7.0.90
70	トリガーの「ON」「OFF」を「OFF」→「ON」に切り替えた際、リモートフォルダに対するファイルシステムトリガーが稼働しなくなる	Pro Premium Desktop	11.6.0.70 11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	タスクアドミニストレーターからトリガーを「OFF」から「ON」に変更した場合、リモートファイルに対するファイルシステムトリガーがサービス再起動まで起動しません。	OFF→ONにしたあとにサービスAutoMate11またはPCを再起動します。	11.7.0.90
71	フォルダに対してユーザーの「インポート」権限が付与されているにもかかわらず、インポートを実施すると権限エラーになりインポートできない	Enterprise Plus/Ultime	11.5.0.94 11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	特定のフォルダに対して「インポート」権限を付与していても、最上位のフォルダ(タスク、コンディション、など)に同ユーザーのインポート権限が付与されていない場合はインポートを行うことが出来ません。 また、最上位のフォルダに同ユーザーのインポート権限を付与すると、配下のフォルダ全てにインポートが可能となるため回避策にはなりません。	権限の変更を行わず意図した場所にインポートを行うには、インポート操作をadministratorで実行します。	11.6.0.70

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
72	[入力]アクションのキーストロークの指定がヘルプファイル通りになっていない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ulimate	11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	SHIFTキーを押下している際、他の文字入力するとヘルプファイルの仕様通り動作しません。 例： {SHIFT} (abc)を指定すると、 結果は「(ABC)」になり、期待する結果「ABC」となりません。		11.5.0.94

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
73	ダブルバイト文字（日本語）が文字化けするアクション	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ulimate	11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	以下のアクションにおいて、ダブルバイト文字（日本語）は文字化けします。 ・OCR	11.5より日本語に対応いたしました。	11.5.0.94
74	[Webブラウザ - 値の設定]アクションでGoogle Chrome・Firefoxから開かれたページの入力欄に「'」を含んだ値が設定されない	Pro Premium Enterprise Desktop Plus/Ulimate	11.4.0.65 11.3.10.65 11.2.1.4	Google ChromeもしくはFirefox操作時、[Webブラウザ-値の設定]アクションにてシングルクォーテーション「'」を含んだ文字列が入力欄に入力されません。	[Webブラウザ - 値の設定]アクションを以下のように編集します。 (1) アクションプロパティ内の「インタラクション」タブを展開し、「設定する値のタイプ」を[テキスト]から[特定の属性]に設定します。 (2) [特定の属性]のプルダウンから[value]を選択します。	11.5.0.94
75	管理コンソールとサーバーの通信が切断されている際にタスク変更内容を保存してもサーバーに保存されず、エラーにもならない	Enterprise Plus/Ulimate	11.3.10.65 11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22		編集後、タスクビルダーを閉じる前にローカルにamlファイルとして保存することにより、編集後の内容を紛失することを回避します。	11.4.0.65
76	AWSアクションに認証情報（シークレットアクセスキー）が入力された時、ステップの記述が消える	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	タスクビルダーがビジュアルモードになっている際、AWSアクションに認証情報（シークレットアクセスキー）が入力された時、ステップの記述が消えて空白になります。		11.3.10.65
77	S3バケットの作成する際のリージョン表記が正しくない	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	「Amazon S3 - バケットを作成する」アクションにおいて、アクションプロパティからリージョン「シドニー」を指定すると、実際にはリージョン「APN1（東京）」が選ばれます。逆に、「東京」を指定すると、実際にはリージョン「APS2（シドニー）」が指定されます。		11.3.10.65
78	日付が変わると電子メールトリガーが停止する	Pro (Option) Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	電子メールトリガーが設定されたタスクについて、日付が変わったタイミング（午前0時）にメール監視が停止します。	午前0時以降に以下のサービスを再起動します。（Windowsタスクスケジューラなどで実行します） Pro/Premium版の場合： AutoMate11 Enterprise版の場合： AutoMate Enterprise 11 Agent または、メールを確認するタスクをスケジュールトリガーにより一定間隔おきに実行し、メールトリガーの代替とします。（サンプルタスクをご提供可能ですのでお問い合わせください）	11.3.10.65
79	電子メールトリガーの演算子が表示されない	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	現在、不具合により演算子が表示されず、設定ができません。	トリガー部分のみを英語に戻していただくことで回避可能です。 【手順】 下記ファイルの拡張子を「.bak」に変更するなどしてリネームすることで演算子を指定できるようになります。 ただし、トリガー設定画面が英語表記となりますのでご了承ください。 C:\Program Files\Automate 11\ja\ フォルダ内の ファイル AutoMate.Resources.Triggers.resources.dll	11.3.10.65

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
80	ループの内部にループがある場合、特定の条件を満たすと内側のEnd Loopの後に正しくないステップに戻る	Pro Premium Enterprise (バージョン11.1.20.19以降で発生)	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5	以下の条件をすべて満たすと、内側のEnd Loopの後に内側のループの先頭に戻らず、外側のLoopの先頭に戻る現象が確認されています。 ・Loopの内側にLoopがある場合 ・内側のループ内に「関数の呼び出し」アクションが存在しており、その関数が「変数 - 戻る」アクションで終了している場合 ・内側のループ内の「関数の呼び出し」アクションの後にIf-Else文がありIfの条件にヒットせずElse側を通った場合	以下2点のどちらかで回避可能です。(「変数 - 戻る」アクションを使用しないと事象が起きないことを確認しています) (1)バージョン11.0.6.11を利用する (2)関数内で「変数 - 戻る」アクションを使用している部分を削除し、代わりにタスク変数に値を代入するように変更する	11.3.10.65

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
81	ループの内部にIF文で囲まれたラベルが2つ以上あるとループの先頭でエラーになる	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	単一のループ内に2つ以上IFで囲まれたLabel - Gotoアクションがあり、それら両方を通るとループの先頭でエラーになります。		11.3.10.65
82	スケジュールトリガーの除外設定において、営業日を指定しても「1」以外が指定できない	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	スケジュールトリガーの除外条件として「月の特定の日」→「営業日」の特定の日を指定しても、設定値が必ず「1」に戻り、設定が出来ません。		11.3.10.65
83	[Webブラウザ - 開く]アクションおよび[Webブラウザ - セッションの作成]アクションにタイムアウトが設定されていると後続のWebブラウザアクションがエラーになる	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Webブラウザ - 開く]アクションおよび[Webブラウザ - セッションの作成]アクションにタイムアウトが設定されていると、後続のWebブラウザアクションにおいて「基になる RCW から分割された COM オブジェクトを使うことはできません。」エラーが発生します。		11.3.10.65
84	[Excel - ブックを開く/作成する]アクションのタイムアウト設定について	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[Excel - ブックを開く/作成する]アクションにタイムアウト設定があると後続の[Excel]アクションが全てエラーとなります。	[Excel - ブックを開く/作成する]アクションではタイムアウトを使用しないようにします。	11.3.10.65
85	JSON配列内にオブジェクトがあると[JSON - デコード]アクションがエラーになる	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	JSON配列内にオブジェクトがあると[JSON - デコード]アクションがエラーになります	[テキスト]アクションまたは[Basicスクリプト]アクションで代用します	11.3.10.65
86	Agent定数を設定すると、タスク実行時にAgentがオフラインになる場合がある	Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	Agent定数が設定されている状態でタスクを実行すると、Agentがオフラインに移行しタスクが失敗する場合があります	Agent定数を使用せず、 ・タスク内でパラメーターファイルを読み込む ・サーバー定数と同じ名前のワークフロー変数を作成し、値を上書きする方法で対応します。	11.3.10.65
87	アクションの「エラー時」設定のリトライ設定が後続アクションにも引き継がれる	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	アクションの「エラー時」設定において、「ステップをリトライする」にチェックを入れて回数を設定すると、後続のすべてのアクションにおいて、エラーになった際のリトライ回数が引き継がれます。	リトライ設定を行ったアクションの直後のアクションにて、リトライ回数を「0」と設定する事により後続アクションのリトライ回数を0に出来ます。	11.3.10.65
88	「OnStepEnd」「OnStepError」「OnTaskFailure」「OnTaskEnd」のいずれかにステップが存在する際にタスクがタイムアウトで終了するとタスクがハングする	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	「OnStepEnd」「OnStepError」「OnTaskFailure」「OnTaskEnd」のいずれかにステップが存在する際にタスクがタイムアウトで終了するとタスクがハングし、終了しません。		11.3.10.65
89	タスクビルダーにおいて「すべてのリージョンを折りたたむ」「すべてのリージョンを展開する」が効かない	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	タスクビルダーにおいて「すべてのリージョンを折りたたむ」「すべてのリージョンを展開する」を実施しても、リージョン名の左の▼の向きが変わるだけで折りたまれたり展開されたりしません。		11.3.10.65
90	優先度を設定したタスクをエクスポートし、再度インポートした際設定値が変わる	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	優先度を設定したタスクをエクスポートし、再度インポートした際「もしコンディションが満たされない場合」の設定項目が継承されず設定値が変化します。		11.3.10.65

#	概要	対象製品	対象バージョン	詳細	回避策	修正
91	AutoMateのExtended関数「RndEx()」が乱数を返さず、常に0を返す	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	AutoMateのExtended関数「RndEx()」が仕様通りに乱数を返さず、常に0を返します。		11.3.10.65
92	タスクビルダーのAMLモードで「置換」機能を利用すると、コメントに意図しないタグが挿入される	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	タスクビルダーでAMLモードで「置換」機能を利用して、コメントのステップ内の文字列を置き換える時に<comment>タグが追加されます。	タスクビルダーの置換機能を利用するのではなく、テキストエディタにコピー&ペーストした上で置換処理を行います。	11.3.10.65
93	タスクビルダーにおけるブレイクポイントについて	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	タスクが「タスク - サブタスクを開始する」アクションを含んでいる場合、親タスクにブレイクポイントを設定すると、サブタスクにおいて親タスクと同じステップ数のステップにもブレイクポイントが設定されます。また、親タスクにおいてサブタスクの総ステップ数よりも大きいステップ数のステップにブレイクポイントを設定すると、「タスク - サブタスクを開始する」アクション実行時に「ファイルオープン時のエラー」が発生します。		11.3.10.65
94	タスク関数内でタスク実行エラーになると、タスクが終了せず進捗100%のまま動作を停止する	Pro Premium Enterprise	11.2.1.4 11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	タスク関数内でエラーが発生しタスク実行エラーになると、タスクがエラーで終了せず進捗100%のまま動作を停止します。	タスクの「イベント」から、「OnTaskFailure」に「タスク - 停止」アクションを追加することでタスクが進捗100%のまま動作を停止させず、エラー終了させます。	11.3.10.65
95	「対話機能 - マウスをオブジェクトに移動」におけるオプション「ScrollIntoViewを使用する」が機能しない	Pro Premium Enterprise	11.1.30.3 11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	「対話機能 - マウスをオブジェクトに移動」におけるオプション「ScrollIntoViewを使用する」は機能せず、チェックしても意味がありません。		11.2.1.4
96	「Problem initializing the variable engine」エラー	Enterprise	11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	ワークフローの途中でエラー「Problem initializing the variable engine」が発生しワークフローが失敗する事象が確認されております。これは、プロセスが長時間稼働し続けたことによりサーバーリソースが圧迫された場合に発生する場合があります。	現行バージョンにおいては、リソース解放のため、定期的にサーバーOSまたは下記のAutoMateのサービス2種を再起動することで回避可能です。 ・AutoMate Enterprise 11 Execution Server ・AutoMate Enterprise 11 Management Server	11.1.30.3
97	Email送信設定において、「システム」を指定しているとEmailアクションでメール送信が出来ない	Enterprise	11.1.20.19	「Email」アクションの「接続」プロパティを「システム」に設定しているとメール送信が出来ずステップのエラーになります。	11.1.20.19のみの問題。バージョンを変更するか、またはEmail送信時には「セッション」を使用して回避します。	11.1.30.3
98	[ウィンドウ - 閉じる]アクションで[強制]を選択してもウィンドウが閉じない	Pro Premium Enterprise	11.1.20.19 11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	[ウィンドウ - 閉じる]アクションの[ウィンドウを閉じる操作:]で[強制]を選択してもウィンドウが閉じずに次のステップに進みます。また、エラーも発生しません。	[ウィンドウを閉じる操作:]において[強制]を使用せず、[リクエスト]を使用して対応します。	11.1.30.3
99	Task Builderにおける配列の表示が正しくない	Pro Premium Enterprise	11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	Task Builderで2*5の配列を作成したのち、Task Builderから配列の要素を確認すると、5*2の配列として表示されている(行と列が逆になっている)。		11.1.20.19
100	Excel - セルの取得において、範囲選択でデータセットを作成する際に対象データが1セルしか無いとデータセットが空白になる	Pro Premium Enterprise	11.1.10.5 11.0.6.11 11.0.2.22	Excel - セルの取得において、範囲選択でデータセットを作成する際に対象データが1セルしか無いとデータセットが空白になる	使用しないダミー列を増やすか、範囲指定ではなく単一データを取得する	11.1.20.19